

事業名	社会教育振興費			調書番号	
細事業名	子どもの読書活動推進事業費	財務コード	159307		116
担当部課室	教育委員会 部 社会教育 課 社会教育振興 担当 (内線)		8355		

I 事業の概要

実施期間	始期 H18 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	子どもの読書活動推進に関わる関係団体	課題を共有し、連携・協力することで推進体制が整備されている。	子どもの読書活動の推進
内容	平成13年に成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成14年に「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定され、これを受けて、県では平成18年に「山梨県子ども読書活動推進会議設置要項」策定し、山梨県子ども読書活動推進会議を設置し、事務局を社会教育課に置いた。 会議は公共図書館関係者、学校図書館関係者、幼稚園、保育所関係者、民間団体関係者等からの10名以内の委員で組織され、子どもの読書活動推進に関わる調査研究や情報交換等を行っている。 平成17年に「第1次山梨県子ども読書活動推進実施計画」、平成24年に「第2次実施計画」、平成29年に「第3次実施計画」を策定している。		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	推進会議開催回数	目標	2	2	2	2	2	2
		実績(見込)	0	1	2	2	1	2
		達成率	0.0	50.0	100.0	100.0	50.0	100.0
		達成区分	d	c	b	b	c	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		0	22	49	43	33	102	102

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	c	評価	平成29年に策定された「第3次山梨県子ども読書活動推進実施計画」に基づいて、市町村の推進計画の策定率向上を目指し、推進計画の「ひな形」を作成して全市町村に配布した。今後、進行管理を行いながら、「第4次山梨県子どもの読書活動推進実施計画」の作成に向けて、推進会議等を通して進めていく。
成果指標	c		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	推進会議を実施することによって、子ども読書活動推進実施計画の作成がスムーズに行われ、内容を充実させることができる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明			
見直しの必要性	有	限られた回数の会議を有効に実施するため、内容の充実を図りつつ、簡素化に努める必要がある。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	子ども読書活動推進実施計画の策定に向けた取組が主な業務になるが、原則年2回の会議の開催を継続しつつ、資料の事前配付を行うなど、会議の内容充実と簡略化に取り組む。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。